

平成23年度 室内環境学会九州支部 活動報告

平成23年度の活動報告

1) 支部研究発表会を下記のように開催した。

研究発表会日時：平成23年1月28日（金曜日）

会場 福岡市・アクロス福岡（大気環境学会九州支部合同開催）

シンポジウム講演 4演題

「東アジアに由来する大気汚染物質-中国および東シナ海周辺での航空機観測・地上観測の結果から-」
畠山史郎先生（東京農工大学）

「東アジア域における越境輸送大気汚染とエアロゾル光学的厚さの経年変化」
鶴野伊津志先生（九州大学応用力学研究所）

「黄砂の健康影響」 市瀬孝道先生（大分県立看護科学大学）

「全環研・酸性雨全国調査からみた越境大気汚染」
友寄喜貴先生（沖縄県衛生環境研究所）

研究発表会 8演題

懇親会

約70名の参加が得られ、大気・室内の空気質に関する演題に関し活発に議論が繰り広げられた。

2) その他の活動

本支部会員が平成22年度室内環境学会学術大会でシンポジウム講演を行った。また、同様に、長崎県佐世保地区の大学にて本支部会員によるセミナー講演が平成23年1月に行われた。更に、学校薬剤師とともに福岡県下の高校にて学校環境衛生の点検評価を継続しており、本年度も、教室内の二酸化炭素濃度測定、照度測定、屋外水泳プール水質検査の実施にあたってのサポート等がなされた。

九州支部役員名簿（平成22年1月～）

榎田 尚樹（支部長）	国立保健医療科学院・生活環境部
佐藤 博（事務局長）	長崎国際大学・薬学部
嵐谷 奎一（監事）	産業医科大学・産業保健学部
田中 昭代	九州大学・大学院医学研究院
力 寿雄	福岡県保健環境研究所